

千代田区立日比谷図書館の展示と講座のお知らせ



特別研究室企画展示
内田嘉吉が所有した『群書類従』
—日本における書誌学のはじまり—

『群書類従』は、江戸期の国学者・塙保己一(1764-1821)が編集した文獻集です。大名、公家、寺社等の個人所有物で、かつ、各地に分散していたため簡単に閲覧できなかった貴重書を収集し、それら文獻1277点を25部門に分類し収録したもので、全部で666冊(目録1冊を含む)あります。「後の世の国学者の人のよき助けとなるよう」と始まった編纂作業は、時の老中・松平定信にも支えられ、40年をかけて完成されました。本企画では、日本における書誌学のはじまりといえる『群書類従』を展示し、塙保己一の大事業を紹介します。あわせて、内田嘉吉が注文した、1915(大正4)年から取りたてが行われた『群書類従』にまつわるエピソードも紹介します。

2018年10月16日(火)～12月28日(金)
平日10:00～20:00 土曜10:00～18:00 日-祝10:00～16:00 ※休館日を除く
日比谷図書館文化館4階 特別研究室 入場無料
協力:公益社団法人温故学会

日本における書誌学の始まりともいえる「群書類従」、そしてその編さんを行った塙保己一に関する特別展示が東京の日比谷図書館で行われています。

番町とともに歩んだ塙保己一

～『群書類従』を編纂した国学者の足跡～

この特別展示に伴い、次の日程で温故学会の齊藤理事長と「塙保己一劇化実行委員会」の会員みなさんとで特別講演が行われます。

日時 12月9日(日) 14:00～15:30
場所 日比谷図書館文化館地下1階
日比谷コンベンションホール

定員 200名
参加費 1,000円

講演予定者

- ① 齊藤幸一氏 (和学講談所と塙保己一)
- ② 荒井一夫氏 (塙保己一の生涯)
- ③ 根岸久氏 (群読劇「塙保己一物語」ができるまで)

※荒井一夫・根岸久の両氏は、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会の委員としても活躍されています

顕彰会への加入・継続をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、平成19年7月26日に市民参加による顕彰会として発足いたしました。顕彰会では、塙先生の遺徳と事績を広く顕彰し、その精神の普及を図ります。毎年、命日の9月12日に塙先生の遺影に菊の花を捧げる顕彰祭を開催するほか、説明会など各種啓発事業を行っています。

みなさまのご加入・会員継続をお待ちしております。

年会費 個人会員 一口 千円、賛助会員(団体) 一口 一万円
入会と会費納入の受付場所 本庄市役所4階生涯学習課と本庄市児玉文化会館(セルディ)、アスパアこだま内の児玉公民館で受け付けています。

※郵便振替でもお申込みいただけます(ご希望の際には、下記へご連絡ください)。



発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会
事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館(セルディ)内
所在地 〒367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2
電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成していただきました。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第33号 平成30年12月号



平成30年度の顕彰祭にて
『塙保己一に捧ぐ』の生歌とジャズの名曲を披露するおぬきのり子&杉山茂生ジャズカルテットのみなさん

ごあいさつ

紅葉の季節を経て、日を追うごとに寒さが増しておりますが、会員の皆様にはご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。

さて、12月15日には、障害がありながらも活躍をされている方や、企業・団体にお贈りする県主催の塙保己一賞の表彰式がここセルディで開催されます。本年も3人の方の受賞が決まりました。表彰式のあとには、記念コンサートもごございますので、みなさまにはぜひご来場くださいますようご案内申し上げます。

また、会員の皆様にお配りしているこの会報誌ですが、平成30年9月号から自治会のみなさまにご協力いただき、回覧をしていただいているところがございます。これにより、今まで以上の多くの皆さまに、この遺徳顕彰会の活動をお知らせすることができるようになりました。

これからも塙保己一先生の遺徳をさらに広めるよう顕彰事業を推進してまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会
会長 吉田 信解

第12回 塙保己一賞表彰式・記念コンサートを開催

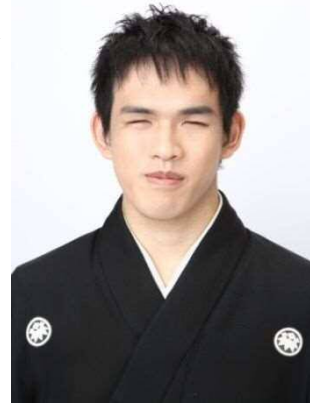
埼玉県では郷土が生んだ偉人「塙保己一」の精神を受け継ぎ、障害がありながらも不屈の努力を続け社会的に顕著な活躍をしている方や障害者を献身的に支援している方を表彰する塙保己一賞表彰式・記念コンサートを下記のとおり開催します。

【本庄市共催】入場無料です。

<日 時> 平成30年12月15日(土) 午後1時～3時30分

<会 場> 本庄市児玉文化会館(セルディ)ホール

<内 容> 開 場 午後0時30分
表 彰 式 午後1時から
記念コンサート 午後2時から
出 演 者 澤村 祐司氏(箏・三絃)
中村 裕美氏(ピアノ)
見澤 太基氏(尺八)



澤村 祐司氏
(第11回塙保己一賞奨励賞受賞者)

◆今年の受賞者のみなさん◆

大賞：高田 英一氏(京都府)

8歳の時に失聴し、ろう学校高等部から当時としては、初めて大学に進学した。卒業後、聴覚障害者では初めて地方公務員試験に合格し、京都市役所に採用となる。昭和39年に財団法人全日本ろうあ連盟(現：一般財団法人全日本ろうあ連盟)議長に就任以来、理事長までの要職を歴任し、平成18年から参加に就任。アジアで初めての「第11回世界ろう者会議」日本開催に尽力し、国際的評価を高め、アジアから初めて世界ろう連盟(WFD)理事に選出される。現在、世界ろう連盟名誉理事、一般財団法人全日本ろうあ連盟参加などを務め、厚生大臣表彰、トーマス・マイナー・ギャローテッド賞、糸賀一雄記念賞、旭日小綬章受章など顕著な賞を数多く受賞。

奨励賞：大胡田 誠氏(東京都)

12歳で失明。慶応大学から、同大法科学院に進学し、全盲では、3人目の司法試験に合格。現在は、弁護士として活躍。社会活動にも力を入れ、平成30年まで社会福祉法人日本盲人会連盟や公益財団法人福祉協会青年部部会長を歴任。現在も指導者として活躍。本人著「全盲の僕が弁護士になった理由」は、2014年テレビドラマ化された。

貢献賞：公益財団法人日本盲導犬協会(神奈川県)

視覚障害者の自立と社会参加を推進するため、盲導犬の育成・訓練、視覚障害者リハビリテーション事業などを展開している。全国に4か所の訓練センターを有し、昨年度創立50周年を迎えた。身体障害者補助犬法や障害者差別解消法の啓発や子どもたちへの盲導犬・視覚障害者への理解をはかる「盲導犬小中学校キャラバン」を開催。平成30年第5回吉川栄治文化賞受賞。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰祭が開催されました。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では、塙保己一先生の命日である9月12日に遺徳顕彰祭を開催しました。当日は、ご来賓や金屋小学校の児童をはじめ、参加者全員の方に献花をしていただきました。その後、記念コンサートが開催されました。(表紙をご参照ください)



金屋小学校のみなさん

群書類従の版木を保管する公益社団法人「温故学会」から「塙保己一」ことども」と題した小冊子が刊行されました。温故学会のご協力により、掲載させていただくことになりました。子供からお年寄りまで、読みやすくわかりやすいお話となっております。

塙保己一 ことども

(提供：公益社団法人 温故学会)

第三編 蔵書はどのように守られたか



理事長 齊藤幸一氏

番町(現、千代田区三番町)の和学講談所内には、五万冊から六万冊にも及ぶ膨大な文献史料が保管されてきました。火災が頻繁に発生する江戸においては大きな問題でした。保己一はどのようにしてこの大事な文献史料を火災から守ったのでしょうか。

南部盛岡藩の国学者である黒川盛隆は、江戸遊学中に講談所で開催される源氏講釈、太子伝などの講座に出席していました。そこで講談所内の様子を『松の小草』に書き残しています。それによると、書林(本屋)が本を持ってくると、保己一はすべて言い値で購入したことや「書物の入る穴蔵(火災から守る)四つ五つありし」と書かれています。しかし残念ながら図面資料が残っていないので確認ができません。

この穴蔵とは地下室のことで、すべての書物を地下空間に保管管理したのです。この方法は、呉服店の大店でも用いられています。船大工などの技術者によって穴蔵を建設し、大事な商品を火災から守ったのです。

講談所の貴重な書物は厳しく管理され、閲覧は講談所内のみに限られ担当者が出入りに目を光らせていました。しかし、講談所の珍本秘蔵書は公的な性格を持ち、貸出を願う要求もかなりあったので保己一はこれを許しています。

江戸の火災から守られた蔵書は、明治の時代になると東京帝国大学ほかの管理下に置かれ、現在は東京大学史料編纂所等で管理されているものもあります。

○9月2日開催「フラインドサッカー東日本リーグ2018開幕戦」に参加 ○10月14日開催「ふれ愛まつり」に参加

9月2日(日)にブラインドサッカー東日本リーグの開幕戦が本庄市の若泉公園多目的グラウンドで、10月14日(日)にふれ愛まつりが本庄総合公園体育館(シルクドーム)で行われました。それぞれの催しに事業部会役員が参加し、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会の活動をたくさんの方に知っていただこうとパンフレット等を配布しました。



ブラインドサッカー
東日本リーグ



ふれ愛まつり